



2019年5月期決算説明資料

東海ソフト株式会社

証券コード：4430



東海ソフト株式会社

代表
代表取締役社長
伊藤 秀和

設立
1970年

本社
愛知県名古屋市

資本金
5億6,252万円

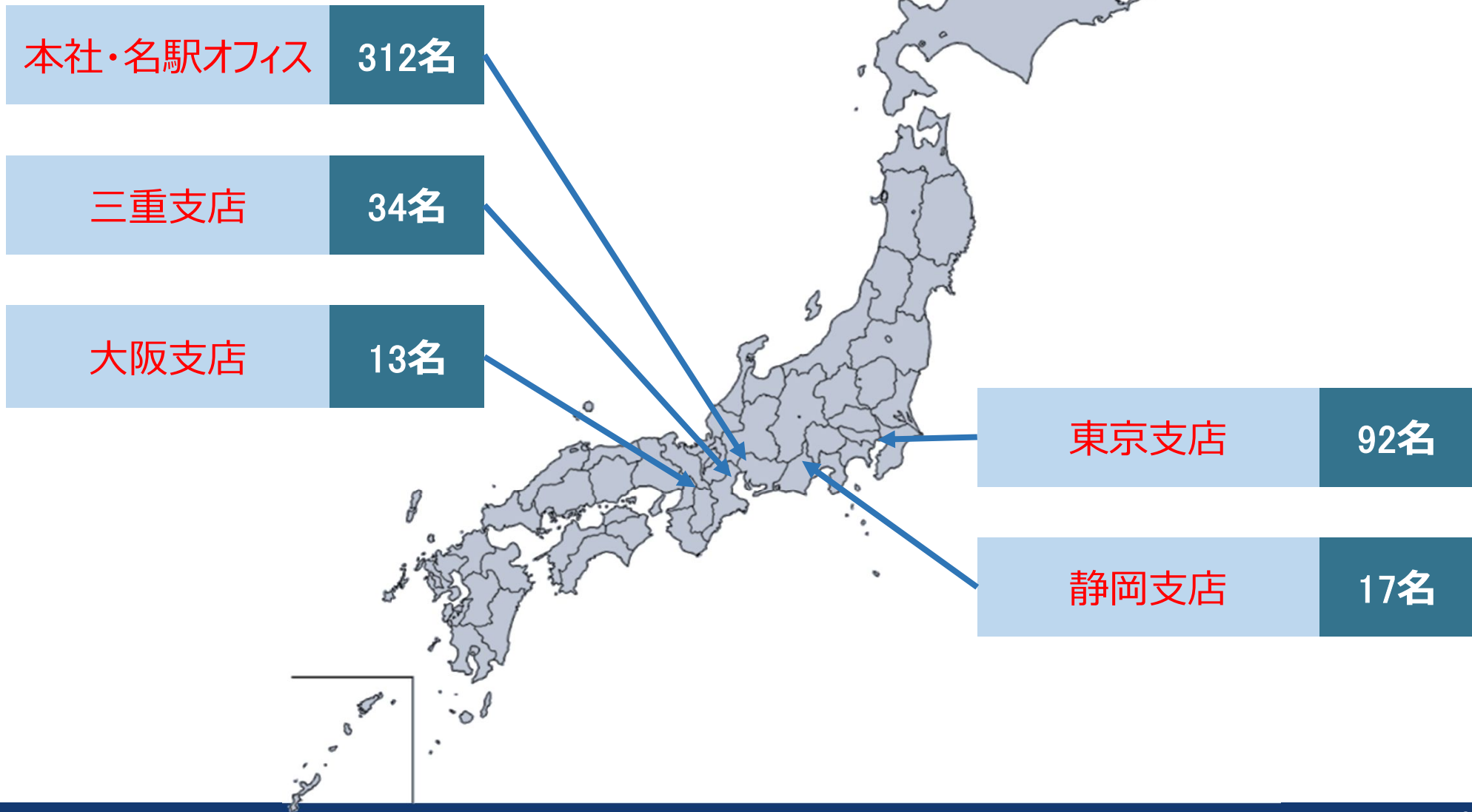
従業員
468名

東証市場第2部
名証市場第2部

証券コード
4430

主な加盟団体

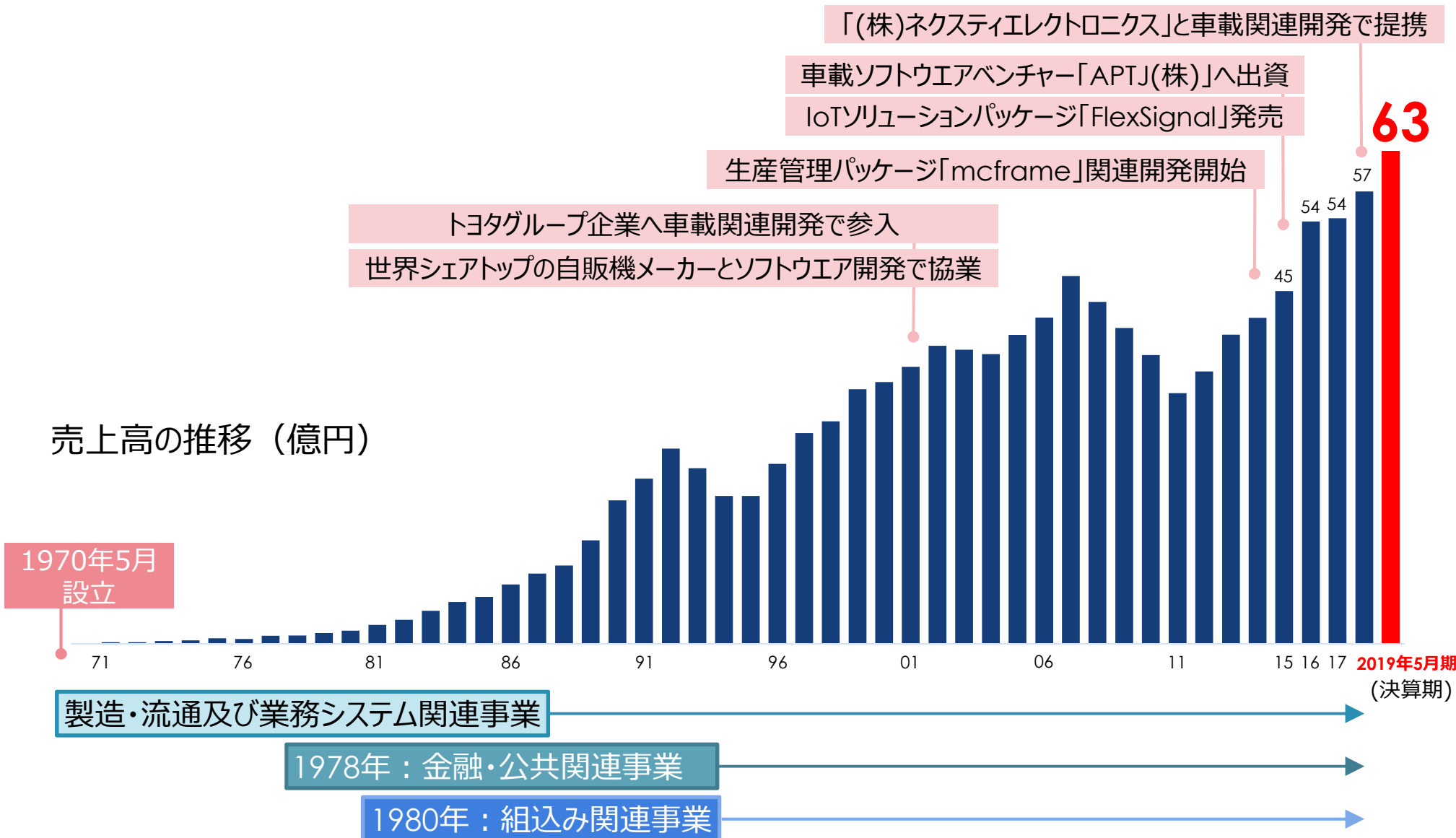






事業報告

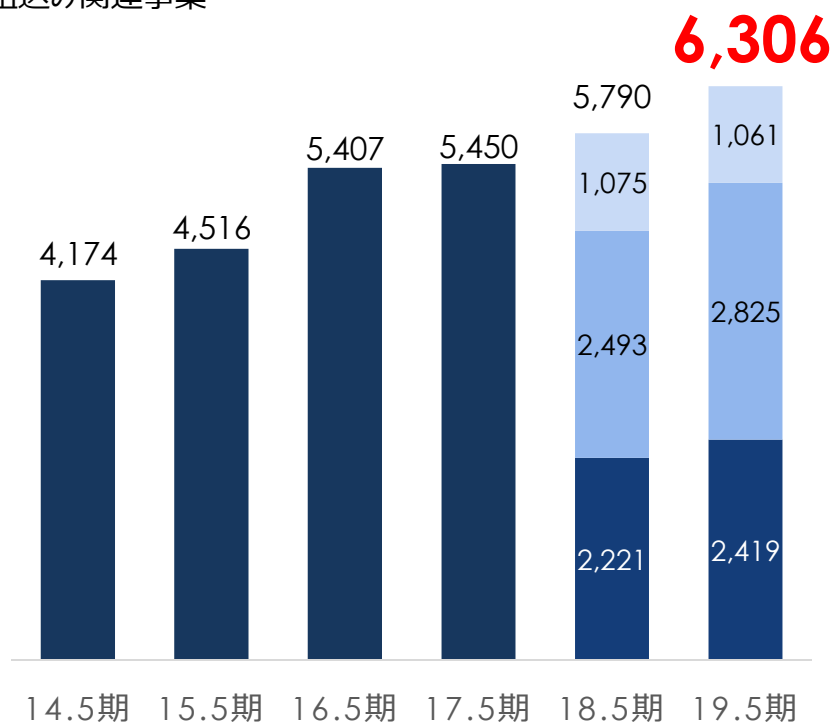
日本の産業力の要である製造業をソフトウェア技術で支えてきました。



2019年5月期は過去最高の売上と経常利益を達成

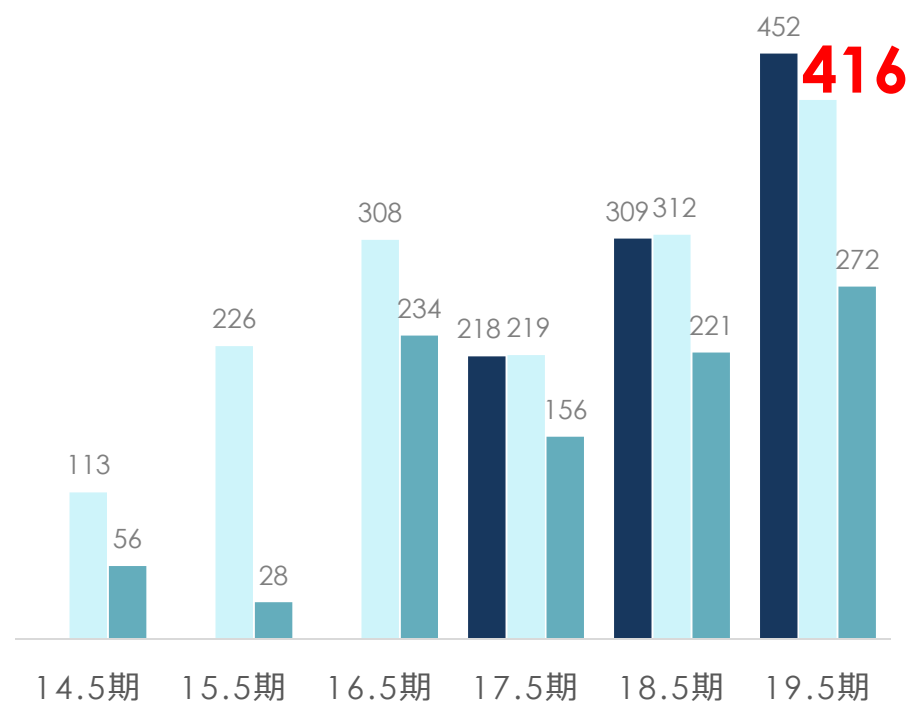
売上高の推移 (百万円)

- 金融・公共関連事業
- 製造・流通及び業務システム関連事業
- 組込み関連事業



利益の推移 (百万円)

- 営業利益
- 経常利益
- 当期純利益



	2018年5月期		2019年5月期		前期比	
	実績	構成比%	実績	構成比%	増減値	増減率%
売上高	5,790	—	6,306	—	+515	+8.9
売上総利益	1,159	20.0	1,378	21.9	+218	+18.8
販売費及び一般管理費	850	14.7	925	14.7	+75	+8.9
営業利益	309	5.4	452	7.2	+142	+46.0
経常利益	312	5.4	416	6.6	+103	+33.3
当期純利益	221	3.8	272	4.3	+50	+22.9
1株当たり当期純利益 (円)	137.3	—	149.2	—	+11.8	+8.6
自己資本利益率(%)	15.5	—	12.6	—	—	—

1

売上高及び経常利益において過去最高を記録

2

2019年2月27日に東証2部・名証2部へ株式上場

3

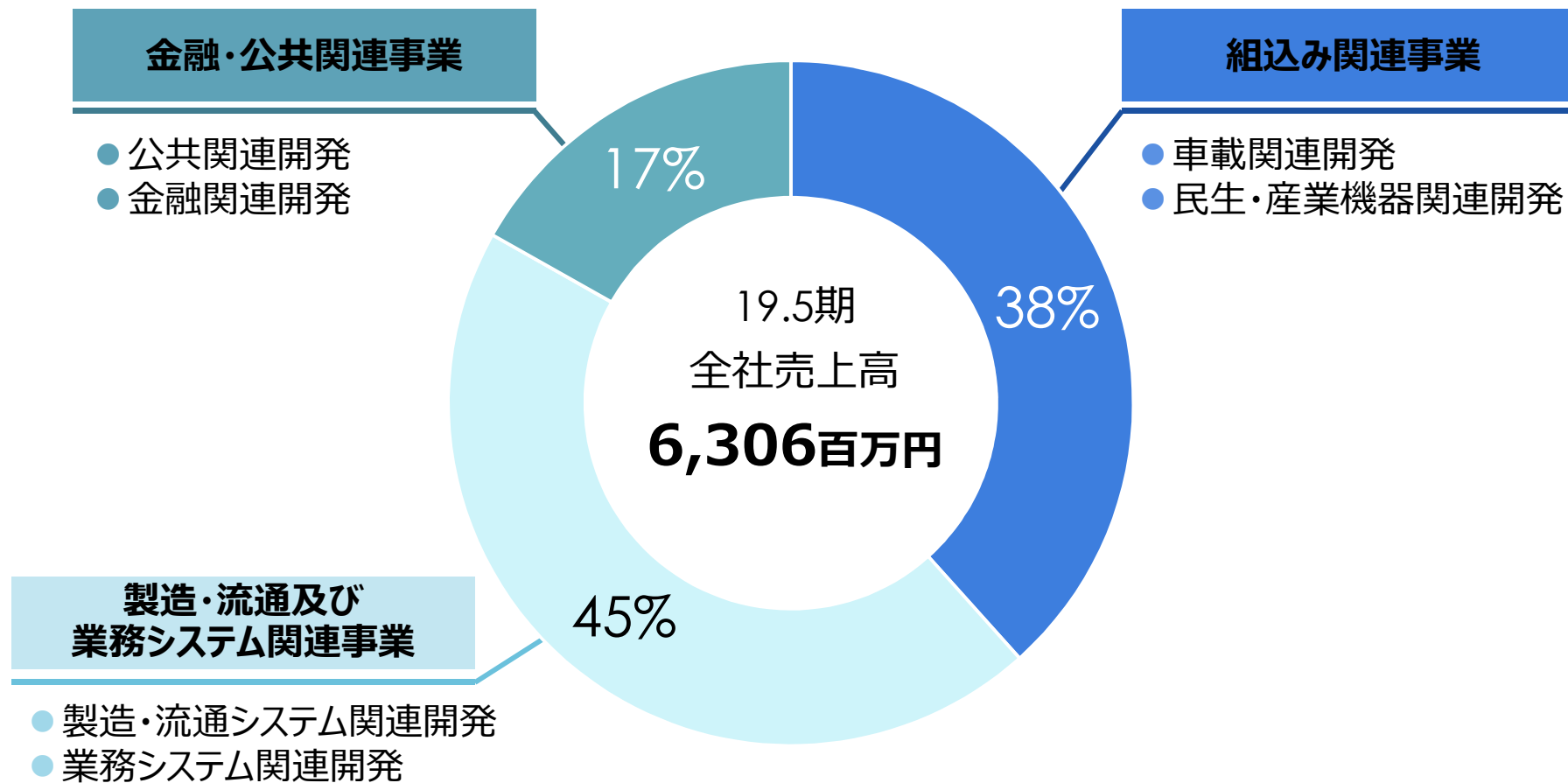
(株)ネクスティエレクトロニクスと資本業務提携 (車載関連開発)

4

「働き方改革」に沿った勤怠管理・業務管理を実現

5

全社的な品質管理 (PMBOK) への取組により赤字案件が減少



事業区分別売上及び従業員の推移

	2018年5月期	2019年5月期	対前年比 (増減率)
全社売上高 (百万円)	5,790	6,306	+8.9%
組込み関連事業	2,221	2,419	+8.9%
製造・流通及び 業務システム関連事業	2,493	2,825	+13.3%
金融・公共関連事業	1,075	1,061	△1.3%
従業員数 (人)	448	468	+4.5%

事業区分別売上総利益の推移

	2018年5月期	売上 総利益率	2019年5月期	売上 総利益率	対前年比 (増減率)
全社(※1) (百万円)	1,159	20.0%	1,378	21.9%	18.8 %
組込み関連事業	321	14.5%	471	19.5%	46.6 %
製造・流通及び 業務システム関連事業	624	25.0%	793	28.1%	27.0 %
金融・公共関連事業	226	21.0%	257	24.3%	13.9 %

※1当社は単一セグメントでありますので事業区分別総利益の合計は損益計算書の売上総利益と一致いたしません。

事業区分別売上



組込み関連事業

組込み関連事業のトピックス

1

APTJ社「Julinar(AUTOSARパッケージソフト)」がリリースされ、AUTOSAR関連開発売上が増加

2

産業機器メーカーの新製品・新技術開発の売上が増加

3

MBD関連の開発技術教育を推進、受注拡大に期待

APTJ社は、名古屋大学発のAUTOSARソフトウェアプラットフォーム開発会社（2014年設立）

AUTOSARは、欧州の自動車関連メーカーが中心となり策定された車載組込ソフトウェアの標準規格

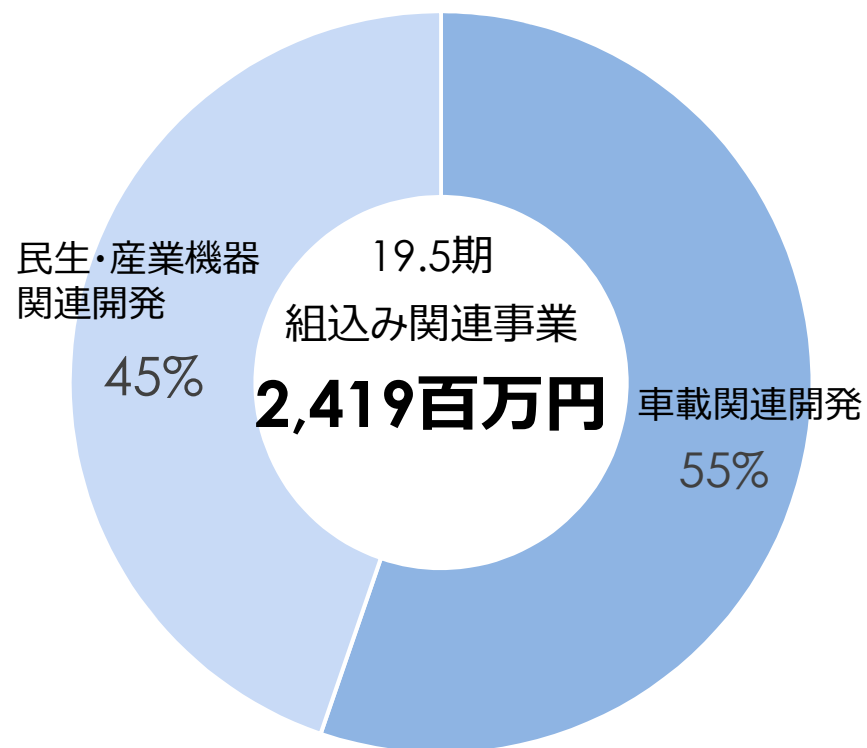
MBD(Model Based Development)は、数学・物理モデルをベースにソフトウェアの仕様や動作を定義・確認する開発手法

組込み関連事業

■ 車載及び産業機器の新技术・新製品に関する開発事業

◆ 車載関連では**トヨタグループ**が**62.0%**

◆ 民生・産業機器関連では、**富士電機**が**62.9%**



事業区分別売上



製造・流通及び業務システム関連事業

製造・流通及び業務システム関連事業のトピックス

1

生産管理に加え、製造実行管理システムパッケージ関連開発を開始

2

「FlexSignal」の売上が好調さを継続

3

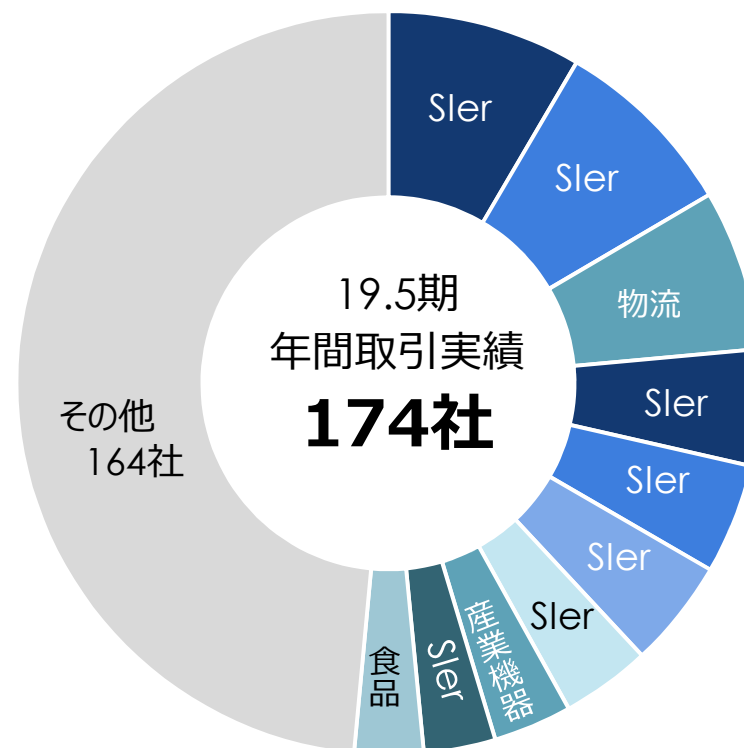
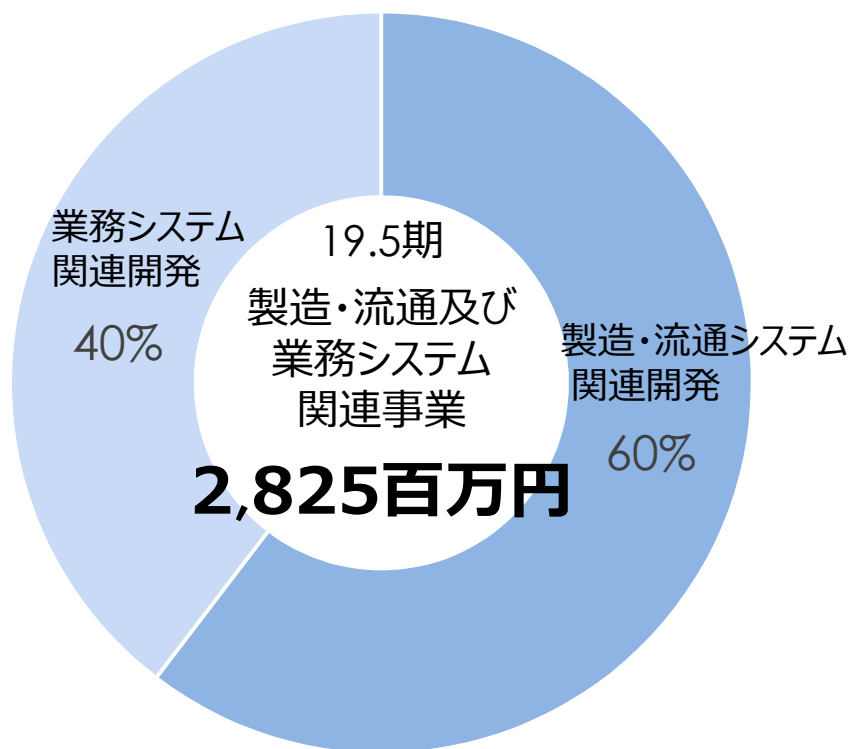
国内製造業・物流業からの引合いは好調、売上も堅調に推移

生産管理パッケージは、mcframe（beng社（日本））、製造実行管理パッケージはApriso（ダッソー社（仏））
「FlexSignal」は、当社が開発した簡易IoT（生産現場の見える化を実現する）パッケージ

製造・流通及び業務システム関連事業

- 年間取引先174社の製造・物流業を支える多彩な開発事業を展開

上位10社売上が全体の約50%



Sierとは、ソフトウェアやコンピュータハードウェアを一括受注しシステム開発を請負う事業者

事業区分別売上



金融・公共関連事業

金融・公共関連事業のトピックス

1

大型金融機関向け開発が終了、開発要員を公共関連開発へシフト

2

公共関連開発は順調に推移、堅調な売上実績

3

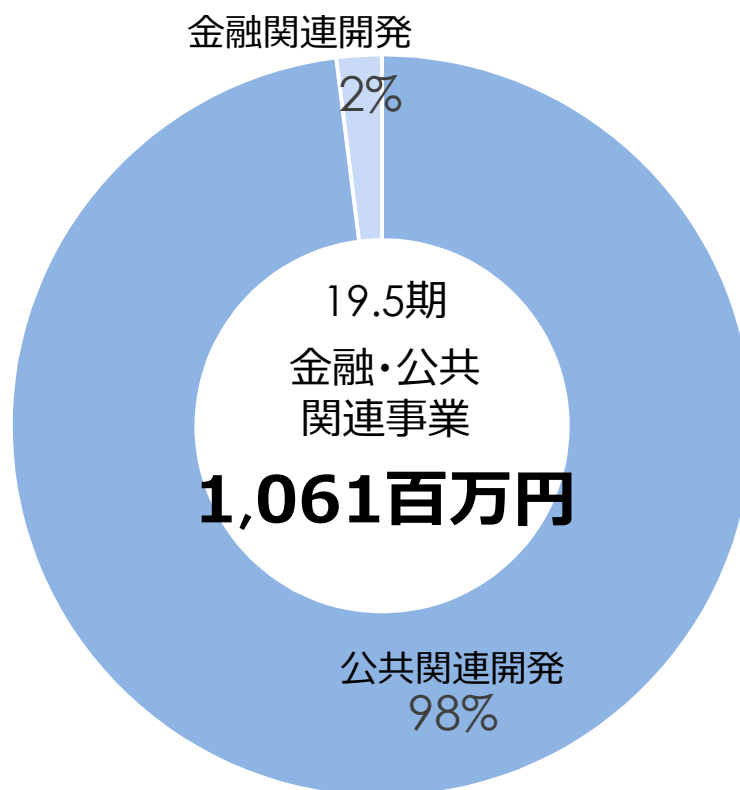
大手SIerのパートナーにおいて、総合1位の評価を獲得

SIerとは、ソフトウェアやコンピュータハードウェアを一括受注しシステム開発を請負う事業者

金融・公共関連事業

- 大手SIerのパートナー企業の一員として、安定した顧客基盤の事業を展開

◆ 日立グループが100%



The background features a blue-toned digital aesthetic. On the left, there are several lines of binary code (0s and 1s) that appear to be receding into the distance, creating a sense of depth. On the right side, a large, white-outlined logo consisting of the letters 'T' and 'S' is prominently displayed. The overall composition is clean and modern, typical of a corporate or technology presentation.

成長戦略



第51期業績予想

	2019年5月期 実績	2020年5月期 予想	対前年比 (増減率)
売上高 (百万円)	6,306	6,550	+3.9%
販売管理費 (百万円)	925	992	+7.2%
営業利益 (百万円)	452	456	+0.8%
経常利益 (百万円)	416	460	+10.5%
純利益 (円)	272	293	+7.4%
1株当たり純利益 (円)	149.26	125.38	—

当社は、下記の基本方針に従い、株主様への還元を図ってまいります。

基本方針

- 1 安定的配当の継続
- 2 財務基盤の安定化
- 3 内部留保による将来投資（研究開発等）

	2019年5月期 実績	2020年5月期 予想
1株当たり配当 (円)	25.00	30.00
配当性向 (%)	16.7	23.9

1

対売上経常利益率 7%達成と株主還元（配当金30円）

2

採用の強化と更なる社員教育の充実

3

業務ソリューション分野の強化（2025年問題を商機と捉え）

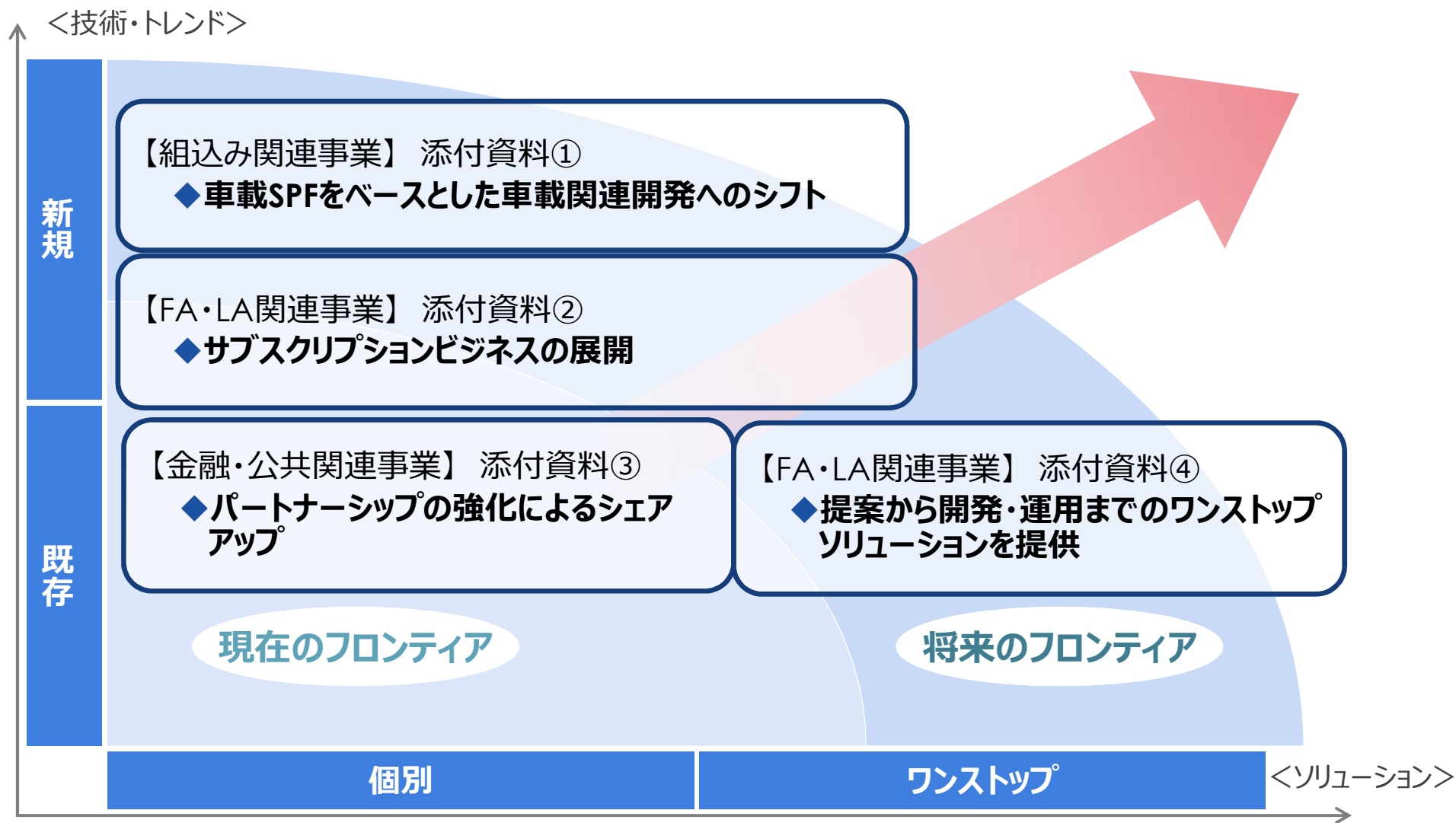
4

トータルソリューション提案に向けた3事業分野の融合

5

サブスクリプションビジネス（課金収益モデル）への挑戦

- 第4次産業革命の先にあるDX（デジタルトランスフォーメーション）に向け、確かな技術と多様なパートナーシップを基に、安定的な成長をめざします。



添付資料① 車載ソフトウェアプラットフォームをベースとした車載関連開発

◆「AUTOSAR」プラットフォームのソフトウェア開発

組み込みソフト

■ 得意分野で業容の拡大



ミドルウェア
(MBD)

■ AUTOSARのモデルベース (MBD) 開発による事業価値向上

- 株式会社ネクスティエレクトロニクスと資本業務提携(2018年7月)
- 車載ソフトウェア開発の標準化・開発コスト低減・信頼性確保



NEXTY Electronics

プラットフォーム
AUTOSAR
Enabling continuous innovations

■ 車載ソフトウェアプラットフォーム「AUTOSAR」の推進

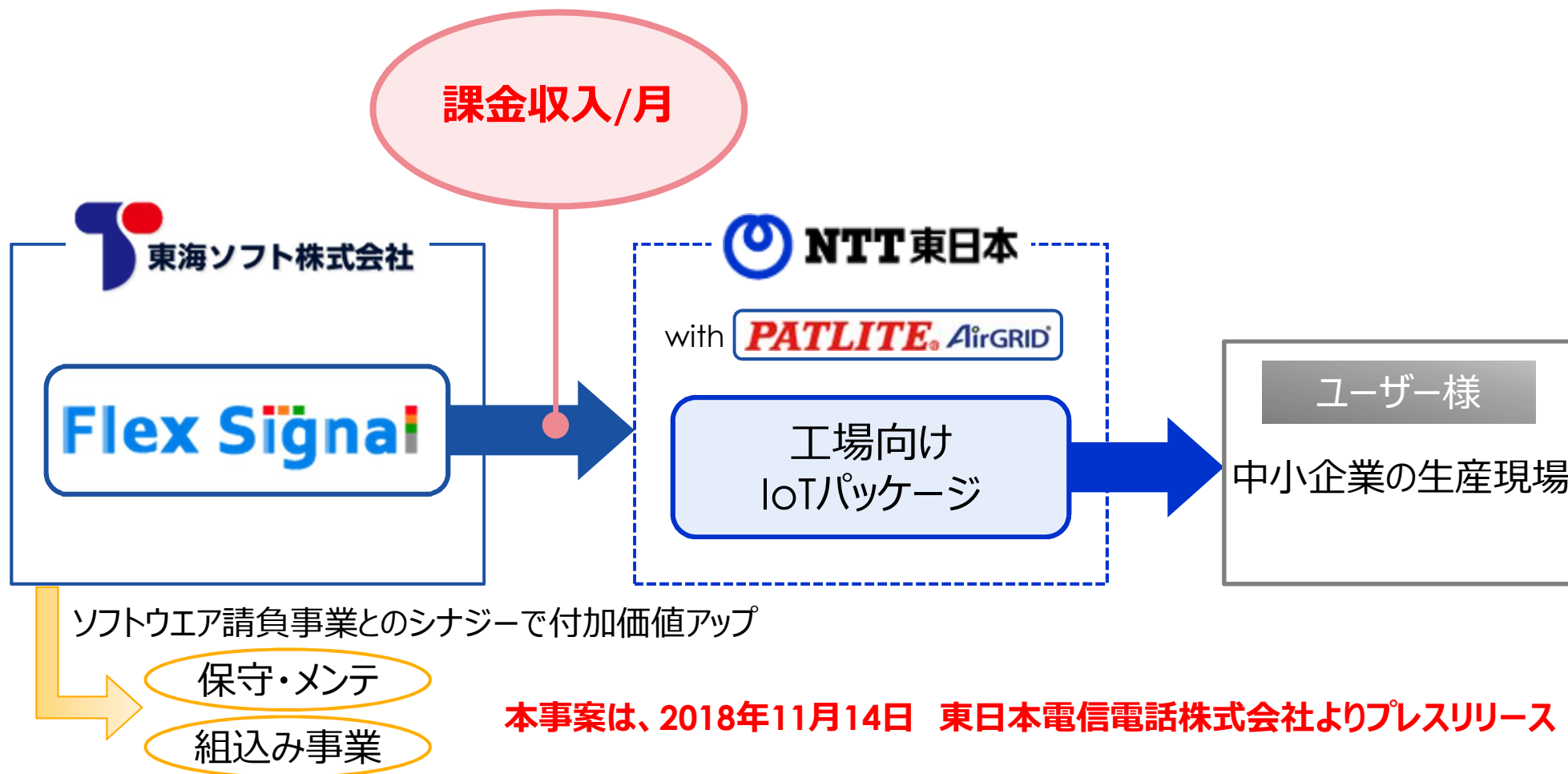
- APTJ株式会社へ出資 (2015年12月)、共同開発へ



AUTOSARプラットフォーム

添付資料② IoT技術を活用したサブスクリプションビジネスの展開

生産現場を「見える化」するIoTパッケージとして **FlexSignal（自社製品）** を提供



添付資料③ 大手SIerとの強固なリレーションシップ

大規模プロジェクトの開発パートナーとして高い信頼性を発揮

公共関連開発

- ◆ 省庁、地方自治体、大学、公益法人等
- ◆ 継続利用される案件が中心

金融関連開発

- ◆ 主に大手金融機関向けのソフトウェア開発

日立グループとの強固なリレーションシップ

大型プロジェクトを担う開発力

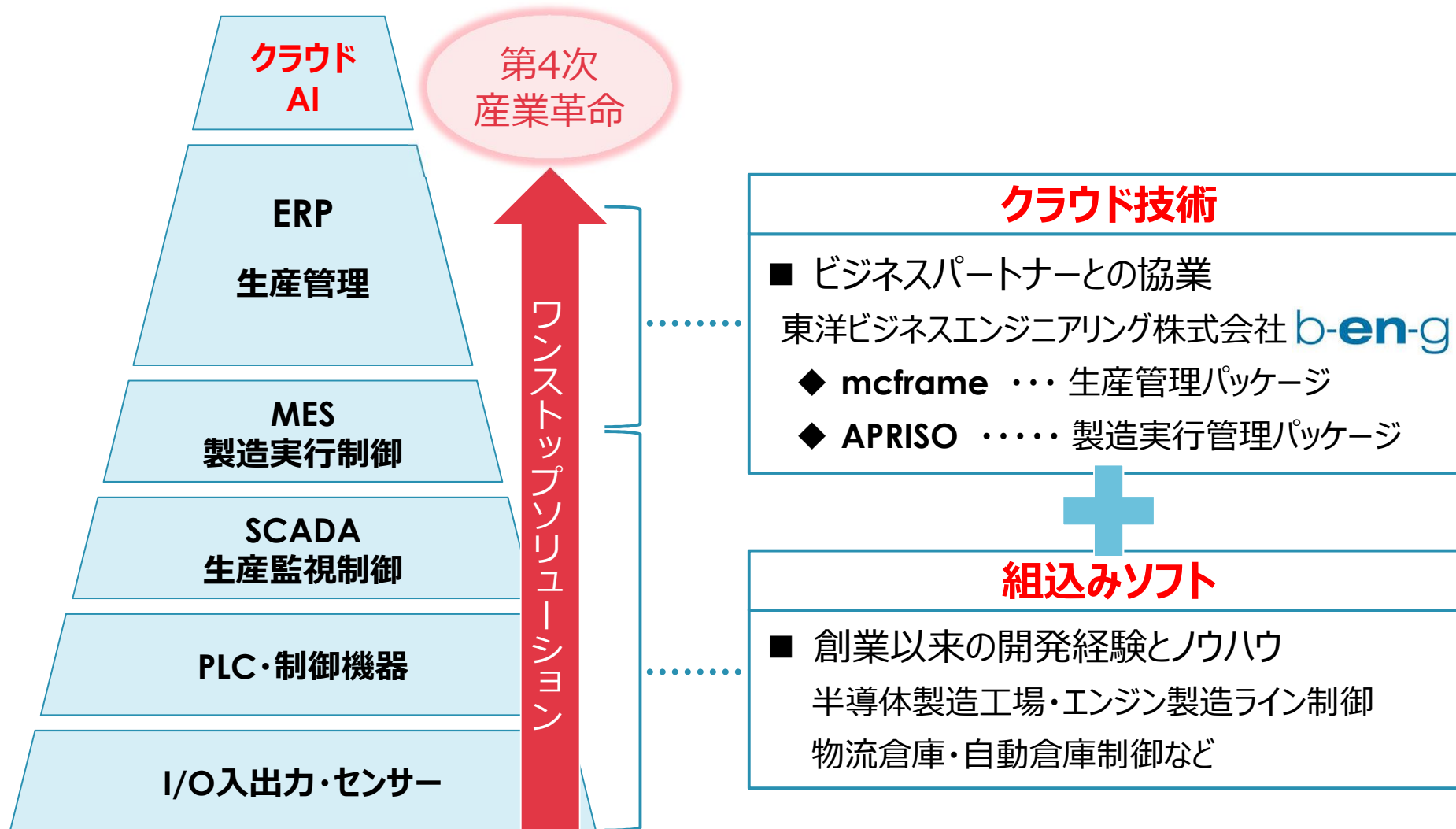
—日立グループと連携する管理手法—

高いシステム品質とサポートの信頼性

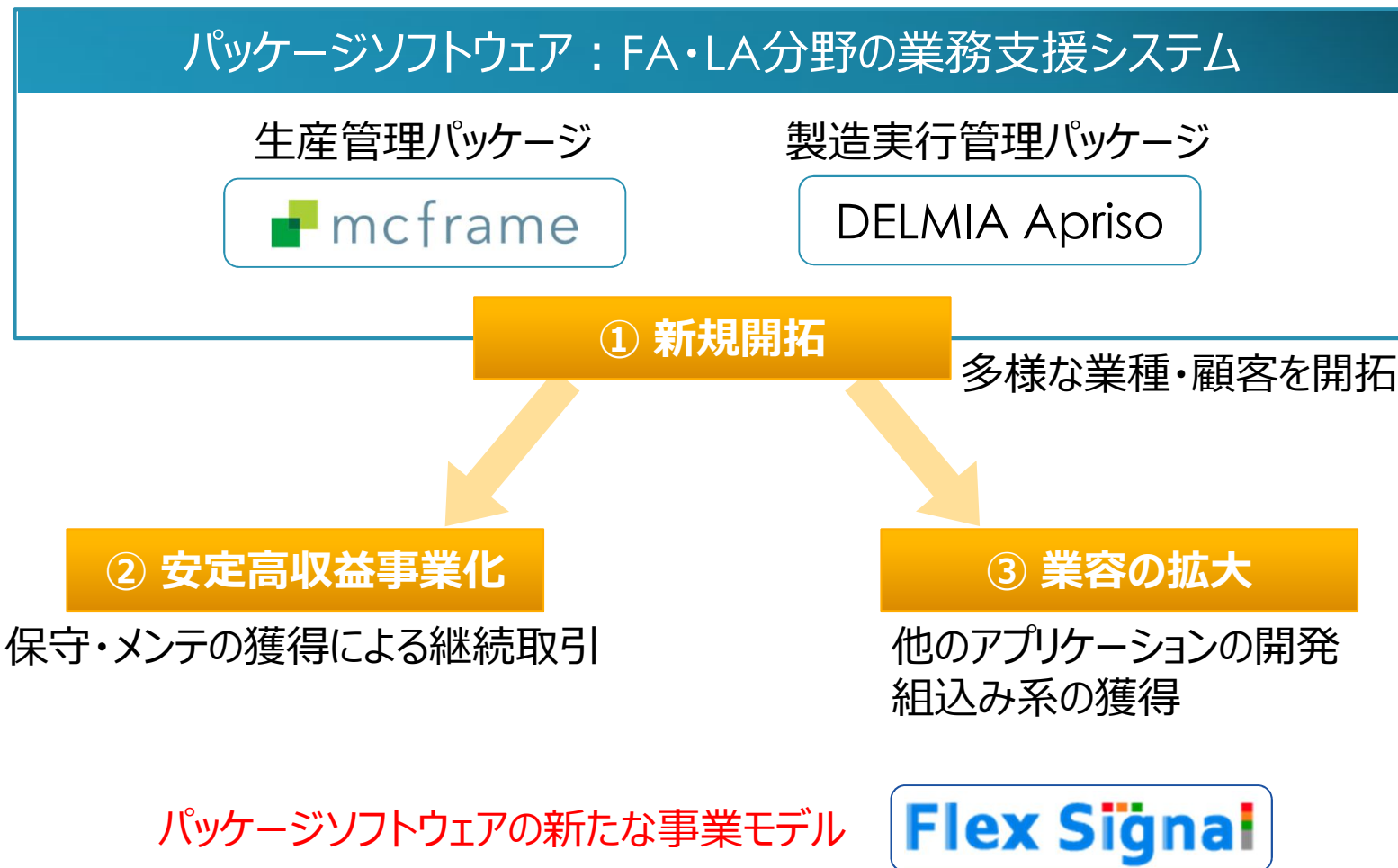
—日立グループ固有の開発・品質管理手法—

添付資料④-1 パッケージソフトウェアを起点としたSIerへの進化

ワンストップソリューションの提供へ



添付資料④-2 収益向上の起点となる、パッケージソフトウェア



生産管理パッケージは、mcframe（beng社（日本））、製造実行管理パッケージはApriso（ダッソー社（仏））
「FlexSignal」は、当社が開発した簡易IoT（生産現場の見える化を実現する）パッケージ

当社は常に、

「ソフトウェア開発を通じて日本の産業界の発展を支える。」という気概を持って

全社一丸となり、事業に邁進し企業価値の向上に努めてまいります。

引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

「顧客に価値を提供し続ける会社」

「顧客・社員・社会すべてに信頼される会社」

本資料に関するご注意について

- ・本資料には作成時点での予測や仮説に基づく記述が含まれています。
これら将来の見通しに関する記述についてはその実現を保証するものではなく、
既知、未知のリスクや各種要因により実際の結果、業績と異なる可能性があります。
- ・本資料に記載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

お問合せ先 東海ソフト株式会社 経営企画室室長 市野雄志
TEL : 052-563-3572 E-mail : ir@tokai-soft.co.jp